

東京都立葛飾総合高等学校 令和5年度 人間と社会 年間授業計画

教科： 人間と社会 単位数： 1・2年次によるポイントリザーブ制

対象学年組： 第 1 学年 A 組～ E 組

教科担当者： (A組： 田島・関根) (B組： 小島・直井) (C組： 池田・中尾) (D組： 渡邊雅・奥田) (E組： 山崎・稲葉)

使用教科書： (人間と社会 (東京都教育委員会))

教科 人間と社会 の目標

予測できない社会の変化や新しい課題に対応するため、主体的に自己や社会の課題を発見し、解決に向けて必要な知識および技能を身につける。

【知識及び技能】

社会的現実にもとらされ、よりよい生き方を選択できるよう、自己と社会との関わりから課題を見出し、情報を集め、整理・分析して、多面的・多角的に考察する力や、考察したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【思考力、判断力、表現力等】

演習や体験活動に主体的・協働的に取り組むことによって、人間としての在り方生き方に対する自覚を深め、自己の生き方を充実させようとする態度と、互いの良さを生かしながら、社会の一員であることを自覚し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態
1 学 期	序章	人間と社会において学習すべきこと、目標確認	出欠状況、課題への取り組み、提出状況などを総合的に判断し、評価する。	○	○	○
	学ぶことの意義Ⅰ	【演習】講演を通して「高校生活3年間ですべきこと」について、学びのすすめ方、個人プレゼン、協議、意見集約、仮説協議等実施	出欠状況、課題への取り組み、提出状況などを総合的に判断し、評価する。	○	○	○
	助け合う社会	【演習2・体験1】講演を通じて、各自がすべきことをまず確認して、自助業所公助	出欠状況、課題への取り組み、提出状況などを総合的に判断し、評価する。			
	職業人インタビュー	【体験】興味のある職場でのインタビュー	出欠状況、課題への取り組み、提出状況などを総合的に判断し、評価する。	○	○	○
2 学 期	チームで活動することの意義Ⅱ	【演習】講演を通して「チームとは」「チームワークとは」「他者と上手に付き合うためのコミュニケーション方法」について協議する。 【演習】講演を振り返り、ワークシートを活用しチームで活動する意義について考える。	出欠状況、課題への取り組み、提出状況などを総合的に判断し、評価する。	○	○	○
3 学 期	救急救命講習	【体験】救急救命講習の実習を行う。実習の最後にグループワークを行う。	出欠状況、課題への取り組み、提出状況などを総合的に判断し、評価する。	○	○	○
	健康講話	【演習】講演を通して「地域社会を築く」について協議する。	出欠状況、課題への取り組み、提出状況などを総合的に判断し、評価する。	○	○	○